消 防 訓 練 実 施 通 知 書

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日　　　北後志消防組合消防長　　様  　　　　　　　　　　　　　　　　　届出者 　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職氏名　　　　　　　　　　　　　　　  |
|  | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 電話　　　　　　　 |
|  |  |  主要用途 |  |
|  | 令和　　年　　月　　日　　　　時　　分　開始予定  |
| 想定 | １　出火想定日時 | １　通常勤務時間　２　休日　３　夜間　４　その他（　　　） |
| ２　出火想定場所 |  |
| ３　覚知と周知の　　方　法 | １　出火場所付近に居合わせた者が発見し、通報班に知らせる。２　自動火災報知設備の発報で覚知し、受信機付近に居合わせた　者が出火場所の検索と確認を行う。３　その他～ |
| ４　指定避難場所 |  |
| ５　訓練参加　　人　　員 | 出火時の要保護者数　　　　　人 | その他　　　　　　　　　　 人 |
| 出火時の勤務者数　　　　　　人 | 合　計　　　　　　　　　　 人 |
| 事前の予　告 | １　訓練実施者に上記の１．２．３．４．５を予め知らせておく。２　訓練実施者の一部に上記の１．２．３．４．５を予め知らせておく。３　訓練実施者には、全く予告なしで行う。 |
| その他 |  |
| 要望事項 | □消火器取扱訓練を（ 届出時 ・ 後日　／　）　　名程度予定しています。□次回に消火器取扱い訓練を予定。□その他要望事項（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ※　受　付　欄 | ※　経　過　欄 | ※　備　　考　　　 |
|  |  | □取扱有り　　　本(届出時　後日　　　/　　） （前回実施日　　　　/　　）□行事予定等記載済み（番付、Grpwatch、ホワイトボード）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　）　 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 訓練の内容 | 通報訓練 | 　１　（　　　名）が、１１９番の通報訓練を行う。　２　消防機関へ通報する火災報知設備で、１１９番の通報訓練を行う。　３　その他～※　通報訓練を実施する直前には、必ず消防署の一般加入電話（２３－３７１１）　に通報訓練を行う旨の連絡をして下さい。 |
| 消火訓練 | 　１　出火想定室で使用中の火気器具燃料停止と、戸窓の閉鎖訓練を行う。　２　全ての防火戸、戸、窓の完全閉鎖訓練を行う。　３　消火器を出火想定場所まで運び、消火の動作をする。　４　屋内消火栓のホースを出火想定場所まで手びろめする。　５　屋内消火栓を使い、放水訓練を行う。　６　屋内消火栓を使い、屋外に設けた模擬火災を消火する。　７　動力消防ホンプを水利まで運び、出火想定場所までホースを手びろめする。　８　動力消防ポンプを使い、放水訓練を行う。　９　動力消防ポンプを使い、屋外に設けた模擬火災を消火する。１０　その他～ |
| 避難訓練 | 　１　自動火災報知設備のベルを鳴らす。　２　非常ベル、自動式サイレンを鳴らす。　３　携帯拡声器を使い、指定避難場所への誘導訓練を行う。　４　非常放送による出火場所と、避難場所の周知訓練を行う。　５　避難ばしご、緩降機、すべり台、救助袋を使い、逃げ遅れ者の避難訓練を　　行う。　６　屋外避難階段を利用した避難訓練を行う。　７　（　　　　　　　　　）による不特定多数者の避難誘導訓練を行う。　８　（　　　　　　　　　）による逃げ遅れ者の有無確認訓練を行う。　９　（　　　　　　　　　）による逃げ遅れ者の救出訓練を行う。１０　（　　　　　　　　　）による要保護者の避難訓練を行う。１１　（　　　　　　　　　）簿を用いて人員の確認訓練を行う。１２　重要書類、重要物品の非常持ち出し訓練を行う。１３　その他～ |

 １　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

　２　上記の中から該当又は、希望する項目を選び出し、その数字を○で囲むこと。

　３　※印の欄は、記入しないこと。

　４　必要に応じ、防火対象物の配置図、各階平面図に、消防用設備等の配置及び避難経路を　　記入したものを添付すること。